



## リモートで平和について課題研究

田畑 亜沙美

群馬地本高崎地域事務所（所長・土屋3陸尉）は県立高崎北高校の「総合的学習の時間」の一環として依頼があった「課題研究」について緊急事態宣言下、海上自衛隊へ見学が出来ない状況を鑑みリモートインタビューの調整を行い学生の要望に対応した。

探求授業を希望した生徒は2年生新井倫人さん。将来は海上自衛官になりたいという希望を持つ。

新井さんのテーマは「平和」について。防衛省自衛隊は「平和を仕事にする」というチャッチフレーズを掲げている。平和とは個人によって解釈や考え方が様々であると思うが自衛官にとっての平和とは？をインタビューし学びたいと語った。

新井さんからのインタビューは、海上自衛隊幕僚監部広報室の福富司2海佐が事前に提出していた質問内容に回答する形式で行った。

質問は平和に関する25項目で「貴方の考える理想的な平和とは」「世界平和は存在すると思うか？」等の質問で、福富2佐は、丁寧に、そして真摯に回答をしていた。課題研究のインタビュー終了後、海上自衛隊に入隊したい新井さんは、凛々しい制服姿の海上自衛官と話しが出来たことに感激しながら、海上自衛隊の仕事についても更に多く質問した。

インタビュー終了後から1か月、中間発表会で発表した内容とこれからの目標についてメールがあった。内容は以下の通り。

【平和について学ぶ中で、海上自衛官になり、平和の一助になりたい。現在自衛官になる目標を持っているが、なかなかその目標に向けた努力や対策が甘く至らないところが数多く残っているのでそれを克服できるようなスキルやそれに繋がるものを身に着けたいと思う。そしていつか平和を仕事にする海上自衛官になりたい。】と綴られていた。

群馬地本ではコロナ禍でも総合的学習等の要望があればリモート等の非接触で参加することの出来る場面を提供し、自衛隊の魅力と活動への理解を深めた。

